学校番号	２１８

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現応用	2	第３学年	Pair & Share 3

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語表現応用の授業は、「読むこと」、「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」のうち、特に「話すこと」と「書くこと」の力を伸ばすことに主眼を置いて授業を進めていきます。そのため授業においては、英語で、あるテーマについての自分の感想を述べたり、読んだり聞いたりした文章を自分の言葉でまとめて発表するなど、英語を「使う」場面がこれまでの授業よりも格段に増えてきます。最も意識してほしいことは、「誤りのない英語」を目指す必要がないことです。表現や発音のミスに気をとられるよりも、相手に自分が何を伝えたいのか、どうすれば相手により理解してもらえるのかということをしっかり考えてもらいたいと思います。この授業を通して、英語で自分の意見を他者に分かりやすく伝える基本を身につけ、さらに発展させていきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	駅や空港などのアナウンスなどの必要な情報を聞き取ることができる。趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば、具体的な情報を聞き取ることができる。	150 語程度の論説文やニュース記事や小説などの様々な文章を読み、その概要をつかむことができる。	・店や駅などの公共の施設において、自分の要求すること等を適切に説明し、解決することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で会話に参加することができる。 ・身近なトピックや知識のあるテーマについて、簡単な語や表現を用いて意見や情報を交換することができる。	・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明することやまとまりのある内容を話すことができる。 ・様々な分野の記事やレポート、資料の概要や要点を説明することができる。 ・社会的なテーマについて、内容を具体的に説明するとともに、自分の意見を述べることができる。	簡単な語や基礎的なフレーズを使って、身近なこと（自分の興味・関心、学校生活など）について複数の文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Lesson1 ～ Lesson4 Morning Rush / Crowded Train / Stolen Bicycle / Vacation in the Country	話すこと (やりとり)	a: 生活場面（通学・交通・事件・旅行）に関する語彙・表現を用いて適切に会話ができる。基本的な質問文・応答文を使って円滑にやりとりできる。 b: 相手の状況説明を理解し、自分の経験や意見を関連づけて応答できる。トラブル場面（自転車盗難など）で必要情報を整理して伝えられる。 c: ペア会話に積極的に参加し、表現を使いながら会話を発展させようとする姿勢がある。	パフォーマンステスト
		話すこと (発表)	a: １日の行動・通学・旅行について，基本構成（導入→内容→まとめ）で説明できる。 b: 出来事の順序を整理し、伝わるように構成して話すことができる。 c: 発表の準備を進んで行い、練習によって改善しようとする姿勢が見られる。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 過去形・進行形などを用いて出来事の描写を書ける。 b: 自分の経験と理由を関連づけて短い文章にまとめられる。 c: 書き直しやスペルチェックを積極的に行う。	ライティングテスト
	中間考査			
	Lesson5～ Lesson8 Health Class / Shaved Ice / Studying / New Smartphone	話すこと (やりとり)	a: 健康・食べ物・学習・テクノロジーに関する語彙を使い分けられる。 b: 好みや理由を説明し，提案・同意・反対のやり取りができる。 c: パートナーの意見に興味をもち，質問を追加して会話を深めようとする。	パフォーマンステスト
		話すこと (発表)	a: 好きな食べ物・勉強法・スマホの機能などについてポイントを整理して話せる。 b: 聞き手を意識して理由や例を添えて発表内容を構成できる。 c: フィードバックを踏まえて原稿や発表方法を改善しようとする。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 比較表現・助動詞（should/must/can など）を用いて文章が書ける。 b: 複数の選択肢を比較したり、自分の意見を理由づけして書ける。 c: 語彙を増やすために調べ学習やモデル文の活用に取り組もうとする。	定期考査 (ライティング)

	期末考査			
2学期	Lesson9〜Lesson12 New Pet / Shoplifting / Saving Money / Vending Machine	話すこと（やりとり）	a: ペット、店での会話、金銭、買い物などの語彙を的確に使用できる。 b: 問題行動（万引きなど）について意見交換し、状況判断しながら会話できる。経済的理由を説明し、適切な選択肢を提案できる。 c: 社会的テーマについて真剣に対話しようとする姿勢がある。	パフォーマンステスト
		話すこと（発表）	a: ペット紹介や節約方法などを整理し、順序立てて発表できる。 b: 問題点と解決策を結びつけて論理的に説明できる。 c: 他者の発表を参考にして、自分の発表の質を高めようとする。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 因果関係の表現（because, so など）を使い理由づけできる。 b: 社会的トピックについて自分の考えを整理し、根拠を示して書ける。 c: 推敲や語彙強化に取り組む態度が見られる。	定期考査（ライティング）
	中間考査			
	Lesson13〜Lesson16 Beach Clean-up / At the Barber's / Chance Encounter / New Refrigerator	話すこと（やりとり）	a: 環境問題、サービス利用、偶然の出会い、買い物に関連する語彙を使用する。 b: 問題発見 → 提案 → 合意形成などのやりとりを行える。 c: 実際の生活に関連づけて会話に主体的に関わる。	パフォーマンステスト
		話すこと（発表）	a: 社会参加（清掃活動など）について構成を整え発表できる。 b: 問題点・改善点・効果を明確に示す発表ができる。 c: より伝わる表現を自分なりに工夫しようとする。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 目的と結果を明確にした文章を書くことができる。 b: 経験から得た学びなどを因果関係を用いて整理できる。 c: 客観的に読み返し、分かりやすい文章になるよう改善する。	定期考査（ライティング）
	期末考査			
3学期	Lesson17〜Lesson20 After-school Snacks / Helping Out / Second-hand Shops / Luggage	話すこと（やりとり）	a: 食べ物、手伝い、買い物、旅行準備などの日常語彙を幅広く使える。 b: 相談 → 提案 → 調整といった実用的なやりとりを行える。 c: これまで学んだ表現を統合して、自ら会話を発展させる意欲を示す。	パフォーマンステスト
		話すこと（発表）	a: 経験談や意見を論理的構成でまとめて発表できる。 b: 他者視点を意識し、「何を・なぜ伝えるか」を整理して表現できる。 c: 発表の質向上に向けた準備・改善への意欲が高い。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 複数段落でまとまりのある英文を書く技能を身につける。 b: 意見・理由・例・結論という文章構成を自力で組み立てられる。 c: 学年間の総まとめとして、自ら学習計画を立てて書く活動に取り組む。	定期考査（ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度